科目名	ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
ヘルスアセスメントⅠ	NSP11__003	必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
岩淵　正博　他	410	masahiro.iwabuchi	火・木曜日 12:10～13:00		

授業の目的・概要	ヘルスアセスメントは、身体的・心理的・社会的 な情報を基に，人々の健康状態を全人的にアセスメントすることであり、フィジカルアセスメントは、患者の身体の健康上のニーズを明らかにするために全身の状態を系統的にアセスメントすることである。ヘルスアセスメントⅠでは、看護過程におけるヘルスアセスメントの概念や意義を理解し、フィジカルアセスメントの基本的な知識・技術（問診・視診・聴診・打診・触診）を演習で身につける。
授業形式・方法	☑対面授業　☐遠隔授(双方向型)　☐遠隔授(自主学習)　☑講義　☑演習　☐実習　☐実技　☐PBL　☐反転授業　☐ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ・ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ　☐ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ　☐ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ　☐実習・ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ　☐その他　（　）
学習上の助言	学習効果を上げるためには、「人体構造機能学」を復習することで、身体の機能を評価する必要性を理解し、機能評価としてフィジカルイグザミネーションを学ぶ。
教科書	看護がみえるVol３フィジカルアセスメント/医療情報研究所/メディックメディア/2019
参考書	ナーシンググラフィカ、基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ/編著：松尾ミヨ子、他メディカ出版、2022
外部教材	必要時提示する。

学生が達成すべき行動目標		関連卒業認定・学位授与方針
①	ヘルスアセスメントの概念・意義について説明できる。	NS（1）～（5）
②	ヘルスアセスメントに必要な問診技術の留意点を説明し、実施できる。	NS（1）～（4）
③	フィジカルアセスメントの基本技術（視診診・聴診・打診・触診）の留意点を説明できる。	NS（2）、（3）
④	バイタルサイン測定の留意点を説明し、正確な技術で実施できる。	NS（2）、（3）
⑤	フィジカルアセスメントの留意点を説明し、正確な技術で実施できる。	NS（2）、（3）
⑥	看護学生としての責任を認識し、主体的・積極的に講義・演習・課題に取り組む。	NS（1）、（5）

授　業　計　画

回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間（時間）	
1	ヘルスアセスメントの概要	講義	予習：事前課題に取り組む 復習：学びをまとめる	1
2	フィジカルアセスメント総論	講義	予習：事前課題に取り組む 復習：学びをまとめる	1
3	バイタルサイン （体温、脈拍、血圧、呼吸数・性状）	講義・演習	予習：事前課題に取り組む 復習：学びをまとめる	1
4	バイタルサイン	講義・演習	予習：事前課題に取り組む 復習：学びをまとめる	1
5	呼吸器系のアセスメント	講義・演習	予習：事前課題に取り組む 復習：学びをまとめる	1
6	循環器系のセスメント①	講義・演習	予習：事前課題に取り組む 復習：学びをまとめる	1
7	循環器系のセスメント②	講義・演習	予習：事前課題に取り組む 復習：学びをまとめる	1
8	腹部のアセスメント	講義・演習	予習：事前課題に取り組む 復習：学びをまとめる	1
9	乳房と腋窩、直腸・肛門・生殖器のアセスメント	講義・演習	予習：事前課題に取り組む 復習：学びをまとめる	1
10	頭頚部のアセスメント	講義・演習	予習：事前課題に取り組む 復習：学びをまとめる	1
11	脳・神経系のアセスメント	講義・演習	予習：事前課題に取り組む 復習：学びをまとめる	1
12	筋・骨格系のアセスメント、身体計測	講義・演習	予習：事前課題に取り組む 復習：学びをまとめる	1
13	バイタルサイン測定（技術試験）	演習	予習：技術試験の準備 復習:試験の振り返りと課題のまとめ	1
14	バイタルサイン測定（技術試験）	演習	予習：技術試験の準備 復習:試験の振り返りと課題のまとめ	1
15	まとめ	講義・演習	（予習：事前課題に取り組む 復習：学びをまとめる	1
試	筆記試験　達成度評価・評価ポイントを参照			

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

達成度評価

総合評価割合（%）		試験	レポート	成果発表	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ	その他	合計
		60	20	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	60	10	0	0	10	80
	思考・推論・創造する力	0	5	0	0	0	5
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	0	10	15
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント				フィードバックの方法
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	
試験	①	✓	定期試験において知識の定着を確認する。	試験問題・解答用紙を返却し、出題意図・解答について解説する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			
レポート	①	✓	提示課題に対する内容の到達度を評価する。 提示課題に対する内容の記述が不十分なレポートは再提出を求める。	レポートにコメントを付し、返却する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥	✓		
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①		バイタルサイン測定の技術試験を実施し、技術・知識・態度の修得度を評価する。	授業時間内に評価をコメントする。
	②			
	③			
	④	✓		
	⑤			
	⑥	✓		

備　考

他担当教員	小石川好美、山崎さやか
教員の実務経験	科目責任者は、看護師として 40 年の臨床経験を有し、臨床実践と学問的な知識、技術を併せて教授する
実践的授業の内容	各教員が看護師としての実務経験をもとに、学生が臨床場面をイメージして学習できるよう指導を行う。
その他	・課題等の提出は期日を厳守すること。 ・今後、社会情勢等によってシラバスの変更がありえる。